古今名馬圖會　中

古今名馬圖彙巻二

栗原信充 編

古今名馬圖彙巻二

古今名馬圖彙巻二

唐黒

蔵人佐定經石清水行幸に供奉志ける時騎用ひられし馬なり吉部秘訓に見えたり

古今名馬図彙巻之二

大臣忠實公乃馬え

荒磯は法性寺関白忠通公乃馬奈里

古今名馬圖彙　巻二

二毛馬(みげのうま)
丹後守(たんごのかみ)為忠(ためただ)
及(およ)び
川かせ
て来て
打(うち)つけに
こゑを
あらう
終(つい)に
これ
みけ
ふちの
駒(こま)

古今名馬圖彙 巻之二

黒鴾毛
左馬頭
義朝
乃馬ふく
平家乃大敵
を
追おひけたり
志とん

大甘子小甘子ハ都筑平太經家ガ飼くる名馬あり

古今名馬圖彙巻二

これを悲惜き
郭璞へ
一物の猴の
如きを得て
帰りしに
猴死馬の
鼻を吸て
これを蘇生せしむ
と云故事に
依と云り

古今名馬圖彙卷二終